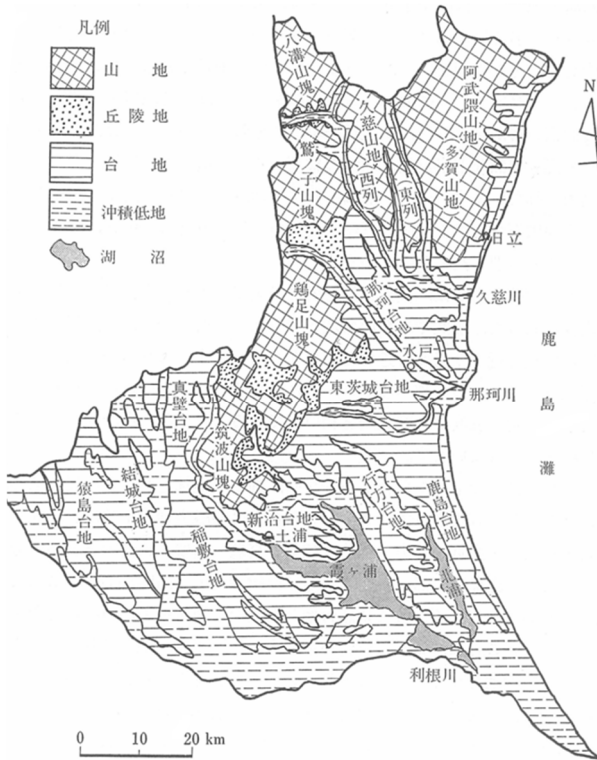


筑西市の地勢と気象

筑西市は、茨城県西部の県西地域に位置する。北は栃木県(真岡市)に、東は桜川市に、南は下妻市に、西は栃木県(小山市)と結城市に接している。市の中央部を南北に小貝川が、その西側を五行川が、更にその西側を大谷川が、市の南部を糸繰川が流れている。市の西部(結城市、栃木県小山市との境)を南北に鬼怒川が、また、市の南東部(桜川市との境)を桜川が流れている。小貝川は、栃木県那須烏山市の小貝ヶ池を水源とする一級河川(国管理)で、取手市と利根町の境を経て利根川と合流する。五行川は、栃木県さくら市を水源とする一級河川(県管理)で、市の中央部で小貝川と合流する。大谷川は、栃木県真岡市を水源とする一級河川(国管理)で、市の南部で小貝川と合流する。糸繰川は、筑西市犬塚を水源とする一級河川(県管理)で、下妻市で小貝川と合流する。鬼怒川は、栃木県日光市と群馬県片品村の県境にある鬼怒沼を水源とする一級河川(国管理)で、守谷市で利根川と合流する。桜川(土浦～岩瀬)は、桜川市の鍬柄山を水源とする一級河川(県管理)で、土浦市で霞ヶ浦(西浦)に流入する。



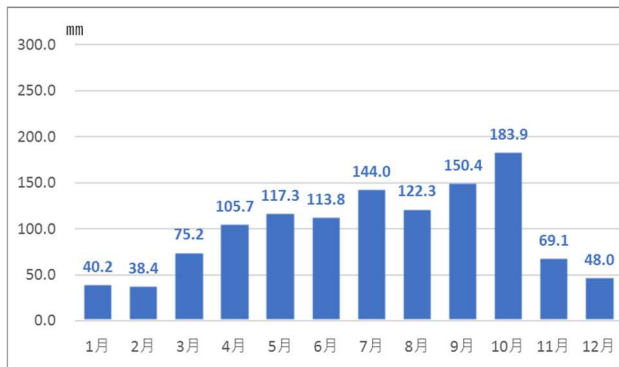
茨城県の地形区分(出典:茨城県 地学のガイド;1977, コロナ社)

地形は、小貝川沿いと鬼怒川沿いが沖積低地で、内陸部は台地である。

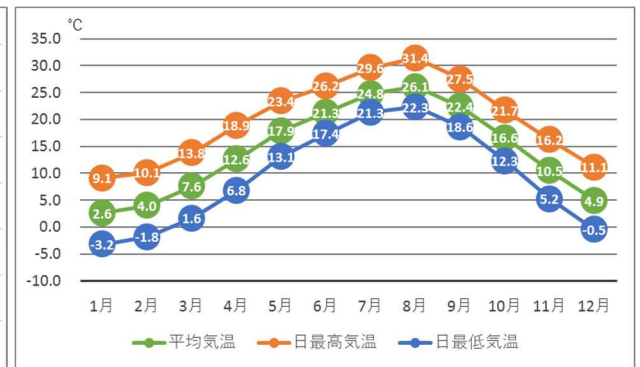
気候は、太平洋側気候で内陸気候の特徴を併せ持つ。夏季は、太平洋高気圧から吹き出す南よりの風の影響で高温多湿となり雨も降りやすい。冬季は、乾いた北西の季節風が吹き、晴天の日が多く、降雪は少ない。内陸部では、気温変化が大きく乾燥しやすい。また、放射冷却が強く働きやすい。

降水は、冬は少なく、春から夏にかけては梅雨前線の影響などで徐々に多くなり、秋は秋雨前線や台風の影響などで更に多くなる。年降水量の平年値(下館)は 1208.3 mmである。

気温は、夏に 35° C以上の猛暑、冬に -10° C以下となることもあるが、平年の気温(下館)は、夏季の日最高気温が 31.4°C、冬季の日最低気温が -3.2°Cで、年平均気温は 14.3°Cである。



下館の降水(月ごとの平年値) 1991年~2020年の統計値



下館の気温(月ごとの平年値) 1991年~2020年の統計値

下館の平年値・極値はこちらから

https://www.data.jma.go.jp/stats/etm/index.php?prec_no=40&block_no=1530&year=&month=&day=&view=